



2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 日医工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4541 URL https://www.nichiiko.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 友一
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 石田 修二 TEL 076-432-2121
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	138,845	△2.3	1,860	△73.6	17	△99.7	△95	—	△267	—	△216	—
2020年3月期第3四半期	142,162	11.7	7,046	△28.2	6,891	△13.9	7,832	△11.6	5,414	△21.6	5,523	△20.0

	四半期包括利益合計額		基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△2,573	—	△3.38	△3.38
2020年3月期第3四半期	4,039	△59.0	86.56	86.21

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益(非経常項目)を除いて算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	325,929	112,521	111,294	34.1	1,736.43
2020年3月期	336,819	117,170	115,826	34.4	1,811.50

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%		%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	△0.0	3,000	△62.6	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
- (3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	65,162,652株	2020年3月期	65,162,652株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,068,608株	2020年3月期	1,222,817株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	63,997,238株	2020年3月期3Q	63,809,580株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2021年2月10日(水)に決算補足説明資料を当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大への懸念から、社会・経済活動の停滞が続き、景気の先行きは非常に厳しい状況となっております。

後発医薬品業界におきましては、後発医薬品使用割合は、政府目標である80%に近接するまで高まっておりますが、一方で、今後は毎年の薬価改定が実施される予定となっていることから、一層の収益力向上が求められる状況となっております。

そのような状況下当社グループでは、昨年4月より全製品についての再点検を実施・完了し、その結果、富山第一工場製造品での不備の判明した製品についての自主回収を2021年1月までに実施いたしております。今般の自主回収を受けて当社グループでは、昨年、新品質方針「安心と信頼への約束」を策定し、社員全員が引き続き品質を最重視する企業文化の醸成に努めております。

A. セグメント別の業績

(単位:百万円)	日医工グループ			Sagent グループ		
	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減
売上収益	117,929	113,085	▲4,844	24,232	26,151	+1,919
コア営業利益	6,746	3,820	▲2,925	300	▲1,960	▲2,261

- (注) 1. セグメント区分は、「日医工グループ」「Sagent グループ」の2つのセグメント区分としており、「Sagent グループ」は、Sagent Pharmaceuticals, Inc. 及びその連結子会社で構成され、「日医工グループ」は、「Sagent グループ」を除いた会社にて構成されております。
2. 当社グループでは、経常的な収益性を示す指標として「コア営業利益」を採用しており、セグメント利益にも「コア営業利益」を採用しております。「コア営業利益」は営業利益から非経常的な要因による損益を除いて算出しており、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

①日医工グループ

当第3四半期連結累計期間においては下記の取り組みを行っております。

2020年11月には、ベバシズマブバイオシミラーの国内における製造販売承認を申請し、2020年12月には、オーソライズドジェネリック『プソフェキ®配合錠「SANIK」』、『ロレアス®配合錠「SANIK」』を含む5成分15製品が薬価基準収載され、製品ラインアップの充実を図っております。

2021年2月1日には、グループ生産体制の最適化及び品質管理体制の強化を主目的として、武田テバファーマ株式会社から、日医工岐阜工場株式会社の全株式を取得し、当社の連結子会社といたしております。

当第3四半期連結累計期間の日医工グループにおける業績は、新製品の売上・利益面への寄与があったものの、2019年10月及び2020年4月の薬価改定による薬価引き下げや、新型コロナウイルス感染症拡大による受診抑制、そして営業活動の制限などの影響から、売上収益は1,130億85百万円（前年同期比48億44百万円減）、セグメント利益は38億20百万円（前年同期比29億25百万円減）と減収減益となりました。

②Sagent グループ

当第3四半期連結累計期間においては下記の取り組みを行っております。

コスト競争力・安定供給能力の強化を目指した、Sagent・ローリー工場及びOmega・モントリオール工場における内製化・自社製造能力の拡充に向けた体制強化を図っています。

また、バイオシミラー・オーファンドラッグの米国市場への早期上市、Sagent 開発品の日本・東南アジア市場への導出に向けた取り組みを進めるとともに、COVID-19陽性ハイリスク外来患者治療のための「カモスタットメシル酸塩錠」の臨床試験（CAMELOTプロジェクト）を進めております。

当第3四半期連結累計期間のSagent グループの業績は、新型コロナウイルス感染症による受診抑制や手術延期の影響がありましたが、前期上市品や新型コロナウイルス関連製品の売上が伸長したことで、売上収益は261億51百万円（前年同期比19億19百万円増）と増収となりました。しかしながら、Sagent・ローリー工場を進める内製化に伴う製造移管費用の先行発生などにより19億60百万円のセグメント損失（前年同期比22億61百万円減）となりました。

B. グループ全体の業績

(単位:百万円)	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減
売上収益	142,162	138,845	▲3,316
コア営業利益	7,046	1,860	▲5,186
営業利益	6,891	17	▲6,874
税引前四半期利益	7,832	▲95	▲7,928
親会社の所有者に帰属する四半期利益	5,523	▲216	▲5,739
希薄化後1株当たり四半期利益	86.21	▲3.38	▲89.59

(注) 当社グループでは、経常的な収益性を示す指標として「コア営業利益」を採用しております。「コア営業利益」は営業利益から非経常的な要因による損益を除いて算出しております。

売上収益は、Sagent グループは増収も日医工グループの減収があり、前年同期比33億16百万円の減収となりました。

コア営業利益は、日医工グループ・Sagent グループともに減益で、前年同期比51億86百万円の減益となりました。

営業利益は、日医工グループにおいて2020年4月から2021年1月に実施した自主回収にかかる費用の計上17億24百万円があったことなどにより、前年同期比68億74百万円の減益となりました。

税引前四半期利益は、前年同期にAprogen Inc. 株式の一部売却による売却益の計上があったことなどにより、前年同期比79億28百万円の減益となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比57億39百万円の減益となりました。

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症に関して、当社グループでは、在宅勤務、時差出勤、各部署の執務場所分散等を実施し、全社員が感染拡大防止に努めております。これまでのところ全生産拠点においてほぼ通常通りの稼働を続けており、売上面においても、新型コロナウイルス関連製品が伸長するなどのプラス面がある反面、患者様の受診抑制、手術延期、営業活動制限による売上への影響や、Sagent においては一部製品について資材の不足により製造委託先からの製品供給が滞るなどの影響もあり、今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況次第では、業績へ大きな影響を及ぼす事象の発生可能性も否定できないと認識しております。

別途新型コロナウイルス感染症に関連した治療薬候補として挙げられている当社の『注射用フサン®』の臨床試験が国内外で行われており、さらには国内においてCOVID-19診療の手引きにデキサメタゾン（当社製品名『デカドロン錠』）が治療薬として記載されております。また米国においては、COVID-19陽性のハイリスク外来患者治療のための「カモスタットメシル酸塩錠」の第Ⅱ相臨床試験（CAMELOTプロジェクト）を進めております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ108億89百万円減少し、3,259億29百万円となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

	増減額 (百万円)	主な要因
現金及び現金同等物	△13,150	富山工場・愛知工場・埼玉工場・静岡工場の製造設備代金の支払など
売上債権及びその他の債権	△7,145	新型コロナウイルスの緊急事態宣言発令及び米国の一部の州でのロックダウン発令による受診抑制、2020年4月の薬価改定による売上減少など
棚卸資産	+7,661	上記売上減少による棚卸資産増加など
無形資産	+2,617	バイオシミラー及びジェネリック医薬品の開発投資など

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ62億41百万円減少し、2,134億7百万円となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

	増減額 (百万円)	主な要因
仕入債務及びその他の債務	△3,491	製造設備代金の決済、季節変動品の仕入代金の決済など
その他の流動負債	△2,875	売上債権自己信託に係る預り金の減少など

当第3四半期連結会計期間末の資本につきましては、前連結会計年度末に比べ46億48百万円減少し、1,125億21百万円となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

	増減額 (百万円)	主な要因
利益剰余金	△2,504	配当金の支払など
その他の資本の構成要素	△2,270	円高による為替換算調整勘定の減少など

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ131億50百万円減少し、297億93百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況の詳細は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第3四半期連結累計期間において32億49百万円の収入超過となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

内容	金額 (百万円)
減価償却費及び償却費の計上	9,821
棚卸資産の増加	△8,044
売上債権及びその他の債権の減少	6,903
仕入債務及びその他の債務の減少	△2,145

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、当第3四半期連結累計期間において144億8百万円の支出超過となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

内容	金額 (百万円)
有形固定資産の取得による支出	△4,656
無形資産の取得による支出	△9,809

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、当第3四半期連結累計期間において19億25百万円の支出超過となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

内容	金額 (百万円)
借入金の純増	1,585
リース負債の返済による支出	△1,455
配当金の支払	△1,899

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績、今後の業績見込を踏まえ、2020年11月11日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上収益 (百万円)	コア営業利益 (百万円)	営業利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	190,000	6,500	未定	未定	未定
今回修正予想 (B)	190,000	3,000	未定	未定	未定
増減額 (B-A)	—	△3,500	—	—	
増減率 (%)	—	△53.8	—	—	
(参考) 前期通期実績 (2020年3月期)	190,076	8,020	2,873	5,133	80.42

コア営業利益につきましては、新製品やSagentにおける新型コロナウイルス関連製品の売上伸長による利益面での寄与があったものの、国内ではエルメッド製品に関しての製造委託先での生産・出荷停止や自主回収による影響、米国においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、製造委託先からの一部製品の供給遅滞や返品増加などによる影響があったことから、30億円に修正いたします。

なお、2021年2月1日に武田テバファーマ株式会社から譲り受けた日医工岐阜工場株式会社の影響額については現在算定中であることから、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益については未定とし、算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

この業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	42,944	29,793
売上債権及びその他の債権	39,923	32,778
棚卸資産	78,127	85,789
未収法人所得税	-	588
その他の金融資産	425	425
その他の流動資産	3,287	2,192
流動資産合計	164,708	151,567
非流動資産		
有形固定資産	59,201	58,479
のれん	44,322	42,858
無形資産	56,607	59,225
持分法で会計処理されている投資	2,066	2,110
その他の金融資産	7,925	8,208
繰延税金資産	10	24
その他の非流動資産	1,975	3,455
非流動資産合計	172,110	174,362
資産合計	336,819	325,929

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	61,750	58,258
借入金	46,747	53,387
その他の金融負債	1,722	1,560
未払法人所得税	214	267
返金負債	3,270	2,669
契約負債	116	116
その他の流動負債	8,868	5,993
流動負債合計	122,690	122,252
非流動負債		
借入金	87,045	81,379
その他の金融負債	2,257	2,153
退職給付に係る負債	945	1,007
引当金	81	82
返金負債	95	91
契約負債	748	681
繰延税金負債	4,521	4,950
その他の非流動負債	1,262	808
非流動負債合計	96,958	91,154
負債合計	219,648	213,407
資本		
資本金	23,360	23,360
資本剰余金	21,896	21,896
その他の資本性金融商品	9,918	9,918
自己株式	△2,562	△2,319
利益剰余金	57,365	54,860
その他の資本の構成要素	5,848	3,578
親会社の所有者に帰属する持分合計	115,826	111,294
非支配持分	1,343	1,227
資本合計	117,170	112,521
負債及び資本合計	336,819	325,929

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	142,162	138,845
売上原価	113,334	115,802
売上総利益	28,827	23,042
販売費及び一般管理費	18,773	19,748
研究開発費	2,954	2,939
その他の営業収益	232	300
その他の営業費用	440	636
営業利益	6,891	17
金融収益	355	456
金融費用	962	857
持分法による投資損益(△は損失)	5	287
その他の収益	2,166	-
その他の費用	624	-
税引前四半期利益(△は損失)	7,832	△95
法人所得税費用	2,418	171
四半期利益(△は損失)	5,414	△267
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	5,523	△216
非支配持分	△108	△51
四半期利益(△は損失)	5,414	△267
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	86.56	△3.38
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	86.21	△3.38

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益 (△は損失)	5,414	△267
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△638	257
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△9	△1
純損益に振り替えられることのない項目合計	△647	255
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△673	△2,562
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△53	-
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△726	△2,562
その他の包括利益 (税引後)	△1,374	△2,306
四半期包括利益	4,039	△2,573
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,136	△2,457
非支配持分	△96	△116
四半期包括利益	4,039	△2,573

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	その他の資本 性金融商品	自己株式	利益剰余金	在外営業活 動体の換算 差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産
2019年4月1日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,893	55,016	6,367	2,371
会計方針の変更					△49		
修正再表示後の残高	23,360	21,896	9,918	△2,893	54,967	6,367	2,371
四半期利益(△は損失)					5,523		
その他の包括利益						△738	△649
四半期包括利益合計	-	-	-	-	5,523	△738	△649
新株の発行に係る直接発行費用		△5					
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配					△353		
自己株式の処分		△47		228			
自己株式処分差損の振替		8			△8		
新株予約権の失効					14		
配当(注)					△1,913		
株式報酬取引							
非支配持分との資本取引及びその他 利益剰余金から資本剰余金への振替		5			△5		
その他の資本の構成要素からの振替					115		△114
所有者との取引額合計	-	△38	-	228	△2,151	-	△114
2019年12月31日時点の残高	23,360	21,858	9,918	△2,665	58,337	5,628	1,608

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	合計
	その他の資本の構成要素		合計			
	確定給付制 度の再測定	その他	合計			
2019年4月1日時点の残高	-	285	9,025	116,323	0	116,323
会計方針の変更				△49		△49
修正再表示後の残高	-	285	9,025	116,274	0	116,274
四半期利益(△は損失)				5,523	△108	5,414
その他の包括利益	1		△1,386	△1,386	12	△1,374
四半期包括利益合計	1	-	△1,386	4,136	△96	4,039
新株の発行に係る直接発行費用				△5		△5
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配				△353		△353
自己株式の処分		△37	△37	143		143
自己株式処分差損の振替				-		-
新株予約権の失効		△14	△14	-		-
配当(注)				△1,913		△1,913
株式報酬取引		41	41	41		41
非支配持分との資本取引及びその他 利益剰余金から資本剰余金への振替				-	838	838
その他の資本の構成要素からの振替	△1		△115	-		-
所有者との取引額合計	△1	△10	△125	△2,087	838	△1,248
2019年12月31日時点の残高	-	275	7,513	118,322	742	119,064

(注) 配当の金額には従業員持株会専用信託への配当金額を含めておりません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	その他の資本 性金融商品	自己株式	利益剰余金	在外営業活 動体の換算 差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産
2020年4月1日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,562	57,365	4,339	1,235
四半期利益(△は損失)					△216		
その他の包括利益						△2,496	255
四半期包括利益合計	-	-	-	-	△216	△2,496	255
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配					△330		
自己株式の取得				△0			
自己株式の処分		△68		243			
新株予約権の失効					29		
配当(注)					△1,919		
利益剰余金から資本剰余金への振替		68			△68		
所有者との取引額合計	-	-	-	243	△2,288	-	-
2020年12月31日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,319	54,860	1,842	1,490

	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	合計
	その他の資本の構成要素			合計			
	確定給付制 度の再測定	その他	合計				
2020年4月1日時点の残高	-	274	5,848	115,826	1,343	117,170	
四半期利益(△は損失)				△216	△51	△267	
その他の包括利益			△2,241	△2,241	△65	△2,306	
四半期包括利益合計	-	-	△2,241	△2,457	△116	△2,573	
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配				△330		△330	
自己株式の取得				△0		△0	
自己株式の処分				175		175	
新株予約権の失効		△29	△29	-		-	
配当(注)				△1,919		△1,919	
利益剰余金から資本剰余金への振替				-		-	
所有者との取引額合計	-	△29	△29	△2,074	-	△2,074	
2020年12月31日時点の残高	-	245	3,578	111,294	1,227	112,521	

(注) 配当の金額には従業員持株会専用信託への配当金額を含めておりません。

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	7,832	△95
減価償却費及び償却費	8,623	9,821
減損損失 (又は戻入れ)	14	-
受取利息及び受取配当金	△100	△114
支払利息	498	413
持分法による投資損益 (△は益)	△5	△287
関連会社株式売却損益 (△は益)	△1,762	-
売上債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	3,838	6,903
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,441	△8,044
仕入債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	787	△2,145
返金負債の増減額 (△は減少)	765	△556
預り金の増減額 (△は減少)	847	△1,517
その他	△2,273	△746
小計	15,624	3,631
配当金の受取額	101	75
利息の受取額	44	7
利息の支払額	△491	△401
法人所得税の支払額	△745	△423
法人所得税の還付額	229	360
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,763	3,249
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,558	△4,656
無形資産の取得による支出	△8,901	△9,809
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	3,200	-
貸付金の回収による収入	71	33
子会社の取得による支出	△6,341	-
その他	△59	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,589	△14,408
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,853	8,057
長期借入れによる収入	200	-
長期借入金の返済による支出	△6,004	△6,472
自己株式の売却による収入	138	175
リース負債の返済による支出	△1,290	△1,455
配当金の支払額	△1,906	△1,899
その他の資本性金融商品の所有者に対する分配額	△353	△330
その他	△23	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,386	△1,925
現金及び現金同等物に係る換算差額	△131	△66
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,343	△13,150
現金及び現金同等物の期首残高	42,093	42,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,749	29,793

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメント

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、前連結会計年度より2022年3月期を最終年度とする第8次中期経営計画「NEXUS∞」を策定いたしました。「NEXUS∞」では『無限大の連繋力で今を超える』をテーマとして3つのシナジー（「領域/地域」「コスト」「人財」）を最大化し、4つの基本戦略「事業領域のさらなる深化/進化」「徹底したオペレーション最適化の追求」「グローバル水準の品質確保、競争力強化」「ESG活動を基盤としたライフサイエンス企業としての信頼確保」を取り組むことによって、グローバル総合ジェネリックメーカーへとさらなる進化を遂げることを目指しており、目標値の一つとして2022年3月期の海外売上高600億円を設定しております。報告セグメント区分は「日医工グループ」「Sagent グループ」の2つのセグメント区分としており、「Sagent グループ」は、Sagent Pharmaceuticals, Inc. 及びその連結子会社で構成され、「日医工グループ」は、「Sagent グループ」を除いた会社にて構成されています。

報告セグメントの売上収益、セグメント利益又は損失は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	連結
	日医工グループ	Sagentグループ	合計		
売上収益					
外部収益	117,929	24,232	142,162	—	142,162
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	117,929	24,232	142,162	—	142,162
セグメント利益又は損失(△) (コア営業利益) (注)	6,746	300	7,046	—	7,046

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益を除いております。

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	連結
	日医工グループ	Sagentグループ	合計		
売上収益					
外部収益	113,085	26,151	139,237	—	139,237
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	113,085	26,151	139,237	—	139,237
セグメント利益又は損失(△) (コア営業利益) (注)	3,820	△1,960	1,860	—	1,860

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益を除いており、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

報告セグメントの合計額と要約四半期連結財務諸表計上額の差異の調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益計	142,162	139,237
自主回収返品引当	—	391
要約四半期連結財務諸表上の売上収益	142,162	138,845

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
セグメント利益	7,046	1,860
統合関連費用	140	118
自主回収費用	—	1,724
減損損失	14	—
営業利益	6,891	17
金融収益	355	456
金融費用	962	857
持分法による投資損益	5	287
その他の収益	2,166	—
その他の費用	624	—
税引前四半期利益 (△は損失)	7,832	△95

(2) 製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスごとの売上収益は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
循環器官用薬	26,203	—	26,203
血液及び体液用薬	21,690	—	21,690
抗生物質	7,699	8,056	15,756
神経系用薬	13,231	—	13,231
消化器官用薬	12,778	—	12,778
化学療法剤	1,927	8,849	10,776
アレルギー用薬	10,537	—	10,537
救急救命用薬	—	6,753	6,753
その他	23,863	572	24,435
合計	117,929	24,232	142,162

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
循環器官用薬	22,483	—	22,483
血液及び体液用薬	20,818	—	20,818
神経系用薬	13,761	—	13,761
抗生物質	6,302	6,776	13,079
救急救命用薬	—	12,461	12,461
消化器官用薬	12,055	—	12,055
アレルギー用薬	9,724	—	9,724
化学療法剤	1,819	5,967	7,786
その他	26,118	946	27,065
合計	113,085	26,151	139,237

（注）コア営業利益と同様に、売上収益から非経常的な要因は除外しております。

(3) 地域別に関する情報

売上収益の地域別内訳は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
日本	117,724	—	117,724
米国	—	21,344	21,344
その他	205	2,887	3,092
合計	117,929	24,232	142,162

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
日本	112,961	—	112,961
米国	—	22,685	22,685
その他	123	3,466	3,589
合計	113,085	26,151	139,237

(注) 1. 売上収益は、販売仕向先の所在地によっています。

2. コア営業利益と同様に、売上収益から非経常的な要因は除外しております。